

【様式1】 平成29年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	恵那市	学校名	恵那市立明智中学校			
校長名	伊藤 勝彦	対象学年	全学年	人数	113人	
活動名	大正村バラ園活動		時間数	6時間	継続年数	2年
題材	1 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） 2 歴史（出来事・史跡・先人・その他） 3 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） 4 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） ⑤ 地域との積極的な関わりをつくる活動等 6 その他（ ）		[ ] [ ] [ ] [ ] [ 大正村バラ園活動 ] [ ]			
複数年継続するための工夫改善	・「地域貢献活動」の一環として、全校生徒で臨むことができる大切な行事であることを、教員側が引き継いでいく。 ・第1、2学年はバラ園の手入れ作業を、第3学年は「大正村バラ祭」でのオープニングイベント合唱披露をするというスタイルを継続させていく。					
<p>1 ねらい</p> <p>(1) 地域の活動に積極的に参画することで、自己有用感を感じ、地域社会人の一員としての自覚をもち、主体的に行動のできる実践力を育てる。</p> <p>(2) 「大正村バラ祭」に向けての準備や当日の合唱披露等を通して、明智町の一員であることに誇りをもたせ、より深くふるさとを知り、ふるさとを愛する気持ちを育てる。</p> <p>2 活動の概要</p> <p>○平成27年度の第1、2学年は年度末の3月に明智まちづくり協議会の場で「日本大正村と明智町の活性化策」を提言した。生徒の提言の中に「大正村ロマン館前のバラ園で結婚式ができるようにする」というアイデアがあった。また、そのために自分たちにできることとして、バラ園の手入れや観光客の案内等も挙げた。</p> <p>○平成28年度は、先の提言を受けて、まずバラ園の手入れに参加することから始まった。第1、2学年はバラ園の手入れに参加した。まず、第2学年は日本大正村景観部ボランティアの方々と共に、バラ園の草取り、肥料まき、ステージ作りなどの作業に参加した。また、休日にもバラ園作業があり、第1学年はその作業に参加をした。大正村の横田晴彦理事長からも「地域の活性化に取り組んでもらい、生徒たちに感謝する」というお言葉を頂いた。また、その後行われた「大正村バラ祭」のオープニングイベントでは、生徒たちの保護者や観光客の見守る中、第3学年が合唱披露し、バラ祭に華を添えた。</p> <p>○平成29年度、第2学年のバラ園の手入れはそのまま引き継ぎ、やはり草取りや肥料まき、花壇のレンガの整備などを行った。第1学年はバラ祭りの会場設営を行った。テント張り、看板立てなどを行った。また、第3学年はやはりオープニングイベントの中で合唱披露をし、地域住民、保護者、観光客に美しい歌声を届けることができた。</p> <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</p> <p>「大正村バラ祭」は、平成17年に端を発する。長年続いてきたこのイベントも、現状は年々元気がなくなってきているのが状況である。中学生がこのイベントにバラ園の手入れの段階からかかわることで、この2年間、少しずつ元気を取り戻しつつある。バラ園や大正村ロマン館での結婚式が実現するのはまだまだ見通しが無いが、中学生の今のかかわり方を今後も大切にしていきたい。</p> <p>4 活動を通しての児童生徒の変容</p> <p>バラ園の作業や合唱披露を通して、自分たちが地域に貢献できている自己有用感を抱くことができつつある。またもっと役立ちたいという願いも膨らみつつある。</p>						